

鬼南小だより

令和8年1月23日発行 第10号

常滑市立鬼崎南小学校

TEL 35-2422 FAX 34-6883



【1/19 朝会の話より】

先週から保健室前の梅の木にピンク色の花が咲き始めました。早くも春が近づいています。早いといえば、私は始業式に3学期が1年のうちで一番短い学期だという話をしました。私は、3学期は日数だけでなく、気持ち的にも一番短く感じています。なぜなら、4月にはクラス替えがあり、今のクラスの人たちとお別れします。6年生はさらに小学校からもお別れです。そうしたら、今のクラスの人たち全員と同じ場所で過ごすことは一生ありません。だから短く感じるのだと思います。そういう短い学期だからこそ、今のクラスで過ごす時間を大切にし、思い出をいっぱいつくってほしいです。今週の縄跳び大会もその一つ、どうせやるならみんなでやろう。みんなで喜んだり、みんなで悔しがったり、それらすべてが思い出です。こういう気持ちで過ごせば、3学期は午年だけにきっとウマくいくと思います。

最後に、今週は総務委員会が企画した「いいとこ見つけすごろく」があります。友達のいいところを見つけて、その人に伝える。伝えられた人は、自分でも気付いていないよさに気付くことができる、とてもよい企画だな、と思います。ぜひ「みとめあおう ささえあおう ともにのびよう」の気持ちで取り組んでください。

みさとの心でさがしだせ！応援メッセージ！

2学期に行った応援メッセージで「1週間で使えた応援の言葉や振り返り」を総務委員会が朝会で発表してくれました。よい振り返りだったので紹介します。

1年生	ファイト！！ すごい 大丈夫
2年生	大丈夫って言えた
3年生	大縄で誰かがけたり、失敗してしまったりしたときに、「大丈夫だよ」や「がんばれ」と言いました。自分も言われたので心が温かくなりました。
4年生	振り返ってみると、意識しなくても「ナイス」「今、めっちゃ上手だったね」という言葉が言えていました。これが長く続くといいです。
5年生	使えた言葉…「大丈夫」「すごい」「ファイト」「がんばれ」応援の言葉を言われると温かい気持ちになった。これからは、あまり使えなかった、君ならできる自信をもって その調子 期待してみるよ を使ってみたい。
6年生	この1週間で何気ない友達との会話でも「すごい」や「ありがとう」などのポジティブな言葉遣いを意識することができたし、ペアの子とも言い合えたのでよかったです。これからも応援の言葉を使っていけるように意識したいです。

お仕事講話（4年生）

1月13日に4年生のキャリア教育の一環として、コテラスの市田さんにお仕事講話をしていただきました。市田さんは獣医、スイーツのパティシエ、パン屋、いろいろな仕事をされて経営者という今の仕事に至ります。それは、「自分の養鶏場でとれたおいしい卵を多くの人に食べてもらいたいという思いでつながっている」と話してくれました。どのような仕事をしても、その仕事に対する自分の思いが中心にあることはとても大切なことだと感じました。また、児童の「いつお休みがありますか？」の質問に対して、「今は経営者だから、どこからがお休みか線引きがしにくいけれど、『自分でこうしたい』と思って仕事をしているから、人に言われてする仕事より全然疲れないし、休みがないとは思わない」と答えてくれました。熱中という言葉が頭に浮かび、熱中できる仕事をしている市田さんがステキだなと思いました。他にも「今、夢をもっていなくてもよい。今を一生懸命、努力することは大切だ」「どんなときでも、夢をもっている人を絶対に馬鹿にしないでほしい」「常滑は食べ物がおいしく、都会では見られない自然の風景がたくさんあり、魅力的な場所」など、地元を愛する心やこれからの生き方のヒントになるお話をたくさんしていただきました。ありがとうございました。



（文責：杉本憲保）